

9 学校改善のためのガイドライン【案の抜粋】

学校力向上のための ガイドライン

- ① 気持ちのそろった教職員集団 *teachers*
 - チーム力を引き出すリーダーシップ
 - 信頼感にもとづくチームワーク
 - 学び合い育ち合う同僚性
- ② 戦略的で柔軟な学校運営 *organization*
 - ビジョンと目標の共有
 - 柔軟で機動性に富んだ組織力
- ③ 豊かなつながりを生み出す生徒指導 *guidance*
 - 一致した方針のもとでのきめ細かな指導
 - 子どもをエンパワーする集団づくり
- ④ すべての子どもの学びを支える学習指導 *effective teaching*
 - 多様な学びを促進する授業づくり
 - 基礎学力定着のためのシステム
- ⑤ とともに育つ地域・校種間連携 *ties*
 - 多様な資源を生かした地域連携
 - 明確な目的をもった校種間連携
- ⑥ 双方向的な家庭とのかかわり *home-school link*
 - 家庭とのパートナーシップの推進
 - 学習習慣の形成を促す働きかけ
- ⑦ 安心して学べる学校環境 *environment*
 - 安全で規律のある雰囲気
 - 学ぶ意欲を引き出す学習環境
- ⑧ 前向きで活動的な学校文化 *rich school culture*
 - 前向きで活動的な学校風土
 - 充実した多様な教育活動

授業力(国語、算数・数学)向上のための ガイドライン

国語科の授業力向上のための ガイドライン

- (1) 「読むこと」を中心にした改善方策
 - ① 発問を変えましょう。
 - ② 一人で読んで考えることのできる力を育てましょう。
 - ③ 「言葉の力」を育てる系統的な計画を立てましょう。
- (2) 「書くこと」を中心にした改善方策
 - ① 日常的に書く機会をつくりましょう。
 - ② 系統的な「書く」指導を行いましょ。
 - ③ 「読むこと」の単元を「書くこと」の単元へつなげましょ。
- (3) 小・中学校が連携した改善方策
 - ① 小・中連携で「言葉の力」をはぐくみましょ。

算数・数学科の授業力向上のための ガイドライン

- (1) 指導観・授業観の転換
 - ・「機械的な計算」、「解法の手順を覚える」授業から、意味理解の伴った授業への改善
- (2) 学習過程の重視
 - ・解決にたどり着く過程(問題解決の過程)を重視する授業への改善
- (3) 子どもの個々の学びを評価
 - ・ひとり一人の児童生徒の分かり方を把握する手だてのある授業への改善
- (4) 授業の中で学習態度をはぐくむ
 - ・「聞く」、「書く」、「話す」など、基本的な学習態度をはぐくむ授業への改善